

農園通信

2024年1月・2月

発行・問合せ先：島本町農業振興団体
協議会・町民農園部会 福田

fukuda-ka@amail.plala.or.jp

野菜の防寒

- ▶ 冬越しの実エンドウ、スナップエンドウ、キヌサヤ、ソラマメ。

種まき時期は10月下旬から11月初め。一般的に10cm程の小さい苗は寒さに強い。しかし、近年は地球温暖化で苗の成長が早く、苗が大きくなりがちです。中には1m程にも成長した畑も見かけます。

寒さに一番弱いのは実エンドウ、次にソラマメ。スナップエンドウと

キヌサヤは意外と大丈夫です。最近では冬の寒さが厳しくないこともあり、昨年は実エンドウとソラマメだけ防寒対策をして、スナップエンドウ、キヌサヤはしませんでしたが大丈夫でした。

また場所によっても違います。数年前の観察ですが、東大寺4丁目の畑は寒さにやられていたけれど広瀬の畑は大丈夫等でした、

防寒の方法は、稲わらを立てる、防虫ネットを掛ける、不織布を掛ける等です。一番暖かいのは不織布掛けです。（早くから防寒(保温)すると成長が早まって逆効果、かえって低温に弱くなります。）

野菜をよ〜く観察して、野菜の気持ちになって、また掛ける労力も考えて必要な防寒をしてやってください。

- ▶ 冬の葉物の防寒

小松菜、ほうれんそう、菊菜(中葉)等の葉物には不織布をべた掛けします。菊菜(大葉)は寒さに弱いので不織布を掛けてもくしゃくしゃになるので、3月にもう一度種を蒔き直しましょう。

- ▶ ビニールトンネルをする。

11月に種まきをした葉物や大根はなかなか大きくなりません。また2月の寒さにあたると花芽を付け塔立ちするので、それを防ぐ意味でもビニールトンネルは有効です。ただ風の強い場所には不向きです。

- ▶ 玉葱の防寒

玉葱は寒さで枯れることはありませんが、もみ殻や堆肥を敷いたり黒マルチ使用で地温が下がるのを防ぐと苗が元気で春以降の成長が良いです。

居心地のよい農園

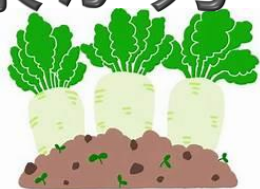
ホット出来る農園づくり！たとえば椅子を置いてみてはどうでしょうか。



尺代の農園(中段付近)に簡易ベンチを設けました。どなたでもご利用下さい。農作業の合間に、尺代集落を背景に草花や鳥、昆虫など命を育む豊かな里地里山を眺めながら骨休めしてみませんか。皆が集まって野菜づくりの情報交換ができると知識も広まり農園の面白さ・楽しさも倍増します。(Oさん)(^_^)

#共用部分を使う時は、地主の許可を得てください。

(;^ω^;) 観察が力



自分の畑だけでなく、他の畑もどんどん観察
しましょう。野菜作りは1年1回の経験ですが、
10人の畑を観察すると10年分経験できます。
レベルアップの鍵は観察にあり

経験談

(Sさん) (12/7)

この冬はやはり温かいのでしょうか、最低限の寒さ対策はしましたが、ニラはいまだに収穫出来ます。秋ジャガも元気そのものです。ダイコンハムシは殆ど見かけません。気温の影響でしょうか。ダイエーに苗の小袋がありましたので、サニーレタスの種を全部蒔きました。サニーレタス、ハウレンソウにはトンネルをしました。夏から秋にかけての野菜の片づけはほぼ終わりました。その殆どは埋めることにしていますが、例年のことながらシソの処分に頭をひねります。伏見甘とうがらしは初めて採取しました。来年が楽しみです。

(Nさん)

今年の人参はとても良い出来です。株間も丁度よく、1本1本が立派に成長しました。特に金時人参は根っこの部分が40cmはあるでしょうか。折らないようにスコップで深く掘って収穫します。収穫は大変ですが、よく二股にならずに育ってくれたものやと思います。

ルッコラは昨年までずっと虫食いなして育ってきたのに、今季はしっかり食べられてました。どうやら味を知ってしまった虫がいるようです。鉄分が多いらしく女性にはありがたい野菜(ハーブ?)のようです。辛いですが。昨年は気温が変でしたね。野菜たちも混乱してるような気がしました。

今年も驚きのある野菜作りができますように(笑)

(Aさん)

里芋が良くなかった。田んぼの横なので水はあった。夏の気温が高すぎたのだと思う。黒マルチをすると地温が余計に上がるのでマルチは外し、クワで土寄せをしたがそれでも良くなかった。天候によって出来る野菜もあれば良くないものもある。欲を出さず、家族が食べる分だけ出来たらよい。

(Fさん) アブラムシは寒さに強い！

菜花にアブラムシ。9月に虫の来ないベランダで苗を作って畑に定植する。はじめは1本ずつ、しかし最後の方は苗が残ったので数本ずつ植えた。成長すると密になった為に株が育たず、弱々しいものも多くなった。するととたんにアブラムシが付いた。細い茎のものを間引いて風通しを良くした。テントウムシが来ていたので、昨年のレタスの経験から1週間もすれば完全にいなくなるだろうと思って見ていたが、テントウムシの働きが遅い。…気温の影響ではないか？ 気温が下がると、アブラムシを食べるテントウムシは動きが悪くなるのに比べ、目の前のアブラムシは元気。アブラムシは寒さに強いのだと思う。しかし完全にアブラムシを退治できなくても菜花は弱ってないし収穫にもそう影響ない。

(Hさん:南丹市、米・大豆農家)

苗代の頃から走り続けて、11月にやっとほぼ収穫を終えました。お米は夏の暑さで作柄を心配したけれど、まずまず平年作でほっとしています。大豆は少し少なかったです。

これらの主要作物は外からの持ち込みがなく(無農薬・無肥料)、自然の力と管理の仕方によって結果が出るので観察力とどれだけ知恵を絞れるかが勝負のように思います。寝ても覚めても田んぼ、畑、作物のことを思っています。体力の低下もありますが、70過ぎてそれなりに野良仕事ができるのは、外仕事で汗を流し続けてきたからのご褒美かなあと思っています。

農園の空き情報<問合せ先> 町民農園部会：福田

fukuda-ka@amail.plala.or.jp

農園通信のアーカイブ
島本町農業振興団体
協議会のHPに掲載